

平成20年2月25日
第38号

素流協 News

平成20年2月25日発行・発行所 岩手県素材流通協同組合 〒020-0024 盛岡市菜園1丁目3-6 (農林会館9階)
TEL 019 (652) 7227 / FAX 019 (654) 8533 / <http://www.soryukyo.or.jp/index.html>

岩手県・県木産協共催勉強会

「真の国産材時代に向けた中小 木材製材業のあり方について」

鹿兒島大学教授 遠藤日雄氏

去る2月5日(火)「県産材利用
住宅促進勉強会」が開催された。

遠藤日雄氏は、平成元年から十
年間ほど森林総合研究所東北支所
(盛岡市)に勤務しており、岩手
県や東北地方の林業情勢にも精通
しておられる方である。

講演は日本全国や南九州を中心
とした内容であったが、これに岩
手県のデータを追加しながら、講
演の要旨を述べてみる。

一、国産材比率の上昇

長い間下降を続けてきたわが国
の用材の自給率は、平成十七年を
転機に上昇に転じて、二〇〇台に
なり話題になった。

製材品に限ってみると、国産材
比率は高い値となってきたおり、
この上昇は、製材工場が規模拡大

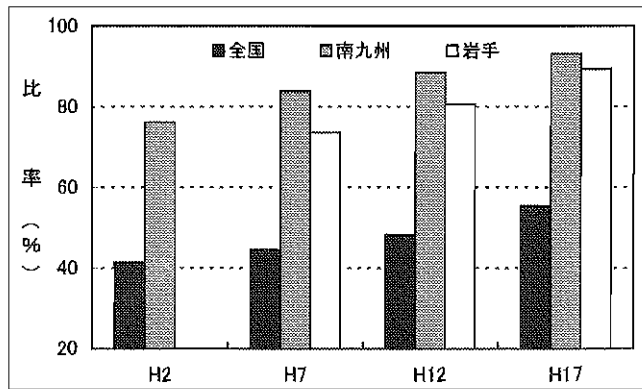


図1 製材品の国産材比率の推移

することによってなされてきた。

製材工場の規模拡大は世界的に
起こっているが、日本においては、
米マツの輸入量減と人工林資源の
充実から、国内スギ材が注目され
るようになったことによる。

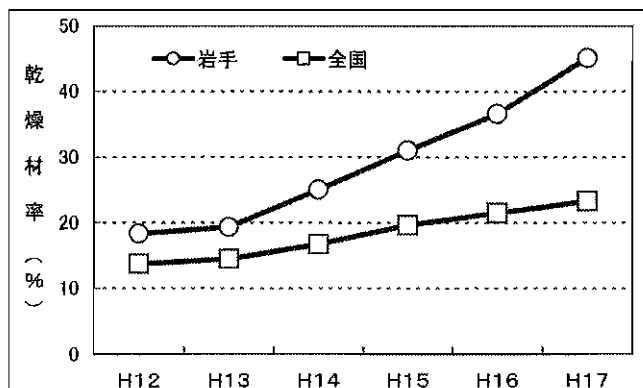


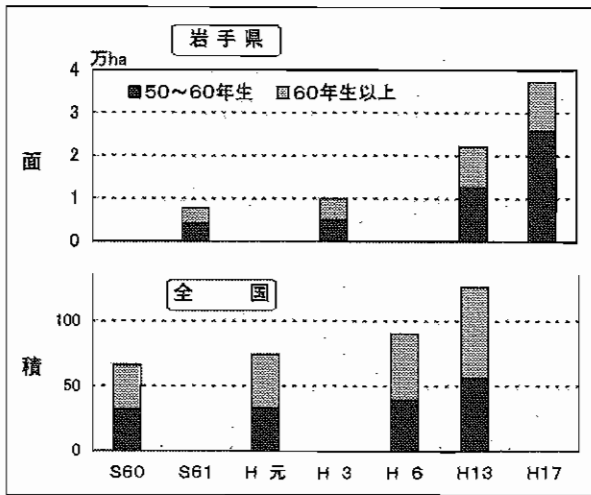
図2 建築用製材品の乾燥材比率

二、製材工場規模拡大の五要因
①スギ材乾燥技術の確立
スギ材の乾燥は、含水率や心材
率などのばらつきが大きいことか
ら難しいといわれてきたが、各工
場が試行錯誤の結果、乾燥マニ
アルが確立されてきて、乾燥材の
比率も上がってきている。

②中目丸太の製材に目途

利用が難しいといわれていた中
目丸太がラミナ用として製材利用
されるようになった。
また、曲がった丸太を曲がった

図3 高齢級人工林面積の推移



⑤製材へ投資する条件が整備された。
製材工場が国産材原木の加工技術の向上等生産性を高めてきて、外材との競争力をつけてきたことから、資本を投入しやすい環境となってきた。(以下次号)

④人工林の成熟化
日本が人工林材を多く輸入しているニュージーランドの人工林は、二〇万立方メートルとなり、国有林も合わせると、年間三六五万立方メートルを伐採し得る潜在能力をもっていると考えてよいであろう。

⑤製材へ投資する条件が整備された。
製材工場が国産材原木の加工技術の向上等生産性を高めてきて、外材との競争力をつけてきたことから、資本を投入しやすい環境となってきた。(以下次号)

まま挽くことの出来るカービングソーが開発された。
乾燥用木屑焚ボイラーの普及
含水率がまちまちで、しかもがさばることからその取扱いが難しい木屑や樹皮を効率的に燃やすことの出来るボイラーが開発、改良され、乾燥材用として普及した。
一方、木屑用ボイラーを導入すると一定以上の製材規模が必要になった。
人工林の成熟化
日本が人工林材を多く輸入しているニュージーランドの人工林は、二〇万立方メートルとなり、国有林も合わせると、年間三六五万立方メートルを伐採し得る潜在能力をもっていると考えてよいであろう。

一八五万ヘクタールであるのに、日本の人工林は一〇三〇万ヘクタールである。
しかも伐採可能な林齢に達した林分が年々増大してきている。
岩手県民有林での人工針葉林三八千ヘクタールのうち、五十年生以上の林分が約一割強に当たる三七千ヘクタールとなっている。
なお、通常の施業を実施した場合、岩手県の民有人工林から今後十年間に生産可能な丸太の量を推定すると、間伐材を含めて年間二〇万立方メートルとなり、国有林も合わせると、年間三六五万立方メートルを伐採し得る潜在能力をもっていると考えてよいであろう。

賛助会員紹介

青森整備協 入会
青森県森連

青森県森林整備事業協同組合が、昨年十二月に、青森県森林組合連合会が本年一月に賛助会員となり、平成二十年一月末現在における素流協の賛助会員数は十五名となりました。
青森整備協(会員五三名)は、平成十五年十月に青森県素材生産事業協同組合と青森県グリーン事業協同組合が合併して設立された組合で、青森市内に事務所を置き、植林から丸太生産・販売まで山林作業を行っている。特に、会員のうち三五名前後の会員が素材の生産、共同販売、受託販売を行っている。
青森県森連は、昭和十六年十一月に設立され、青森市内に事務所を置き、木材センター(三箇所)や緑化センターを有している。現在構成組合数は十三単組となっている。

氏名		住所	入会日
会社等名	代表者		
㈱木島林業	畑井英明	むつ市	H16. 6. 17
杉本林業(株)	杉本嘉輝	むつ市	H16. 6. 24
(有)川崎造材	川崎幸宏	むつ市	H16. 6. 22
青森県国有林材生産協同組合	坪晃	青森市	H17. 2. 21
㈱高橋林業	高橋政吉	八戸市	H17. 11. 18
上北森林組合	小笠原恭裕	上北郡七戸町	H18. 3. 23
(有)坂本造林	坂本恭一	上北郡七戸町	H18. 11. 1
(有)名久井林業	名久井武雄	むつ市	H18. 12. 27
米代トラック(株)	梅村春男	秋田県能代市	H19. 2. 13
太田林業(有)	太田敏男	三戸郡五戸町	H19. 4. 10
丸富運輸(有)	遠澤卓輝	三戸郡三戸町	H19. 5. 1
㈱金見運輸	金見一雄	上北郡七戸町	H19. 6. 5
兵庫木材	兵庫隆介	黒石市	H19. 6. 27
青森県森林整備事業協同組合	成田一憲	青森市	H19. 12. 18
青森県森林組合連合会	本間家大	青森市	H20. 1. 16

ウッドマイルズ講座(5)

地場産材とは

「近くの山の木」とか「地域材」、「地場産材」と呼ばれる木材が広がりを見せてきている。

一方、キヤスビー(35号で解説)では、「地場産材の使用」が評価項目となっている。

一、輸送距離からの地場産材

「地場産材」に対する定義付けを目的に、地場産材を多く使用していると思われる団体や企業、関係者にアンケート調査が実施された。

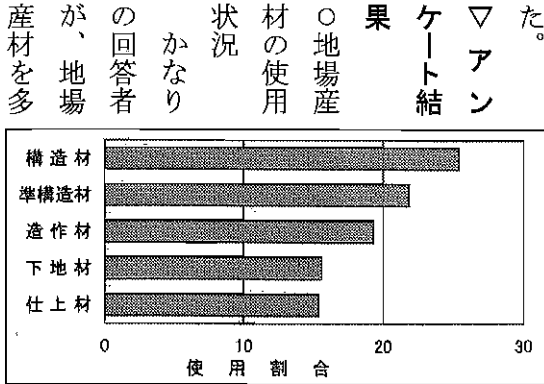


図1 地場産材の部材別使用状況

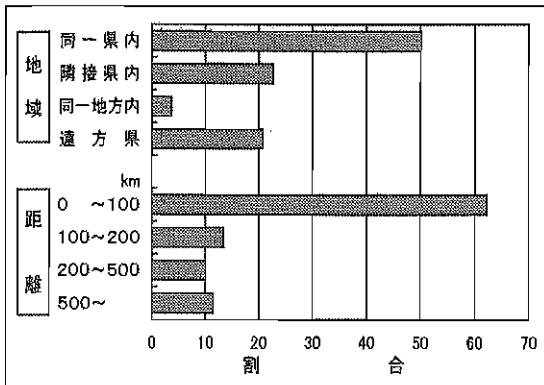


図2 地場産材の産地と消費地との関係

このことから、「地場産材」イコール「県産材」というニュアンスが強いことがうかがえる。

一方、遠く離れた遠距離のものもあることから、「地場産材」イコール「産地直送材」という考えや、

「消費地から見た地場産材」ではなく「産地(供給地)から見た地場産材」という考えのあることもうかがえる。

▽輸送距離からの地場産材

同一県内や隣接県内或いは二百キロメートル以内のものが圧倒的に多いことから、「地場産材」の定義は、距離的には、県内又は隣接県間の移動距離となる二百キロメートル以内の木材といえる。

一方、首都圏で岩手の材が使用されるような遠距離移動の木材は、「地場産材」というより、「産地直送材」と呼ぶほうが適当である。

二、ウッドマイルズからの地場産材

キヤスビーにおける地場産材とは、環境負荷を削減することが出来る木材、「消費地から見た地場産材」と考えるべきである。

わが国で使用されている木材が

輸送時に排出している二酸化炭素の平均的な量(表)を、四分の一に削減することのできる「地場産材」とは、

種類	輸送距離 (km)	CO ₂ 排出量 (kg/m ³)
合板	5135	92
製材品	7173	117

表 わが国木材製品の建築現場までの平均的輸送距離とCO₂排出量

産地と消費地との関係が、同一県内、又は隣接県内或いは輸送距離が三百キロメートル以内の木材である。

なお、これはトラック輸送の場合であり、船舶輸送では一千キロメートル、鉄道輸送では二千キロメートル以内のものとなる。

▽地場産材使用の推進

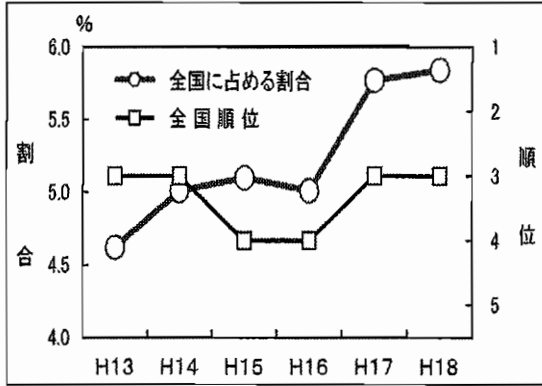
「目の前の山の木」を使って家を建てるのは当たり前のことであり、そのことを説明する適当な指標があれば、消費者により強く訴える力となる。

木材生産額全国第3位

農林水産省は、平成十八年の林業算出額が十年ぶりに前年を上回ったと公表した。

岩手県は、木材生産は増大したが、きのこ類が減少したため、総額で対前年比〇・三%減の一八六億五千万円となった。

部門別割合は、木材生産が六八%、栽培きのこ類が二八%、その他四%となっており、木材の生産額は、平成十六年以降上昇しており、今回も北海道、宮崎に次いで全国第3位となっている。きのこ類は全国第十位、薪炭生産は和歌山に次いで第二位となっている。



木材生産額の推移（岩手県）

一葉

合板の知識 (2)

4 合板の種類

JAS (日本農林規格) における規格は、従来は用途別に別々の規格となっていたが、現在は統一された規格となっている。

▽用途による区分

JASでは、表の6種類となっている。

表 用途による区分

種類	内容
普通合板	普通的一般合板
コンクリート型枠用合板	コンクリート型枠に使用される合板
表面加工コンクリート型枠用合板	コンクリート型枠用合板の表面に塗装などの加工をした合板
構造用合板	建築物の耐力構造上必要な部位に使用される合板
天然木化粧合板	普通合板の表面に、美観を目的に天然銘木のスライス単板を貼った合板
特殊加工化粧合板	普通合板の表面に、美観と耐久性を目的に天然銘木以外のものでも表面加工した合板

▽接着性能による区分

使用する条件に応じて接着強度

を使い分けることが大切であり、接着性能により次のように区分されている。

- ・ 特類合板…フェノール樹脂接着剤等を使用した合板で、屋外又は常時湿潤状態となる場所で使用することを目的とした合板

- ・ 1級合板…メラミン樹脂接着剤

等を使用した合板で、コンクリート型枠用や断続的に湿潤状態となる場所で使用することを目的とした合板

- ・ 2級合板…ユリア樹脂接着剤等を使用した合板で、時々湿潤状態となる場所で使用することを目的とした合板

▽樹種による区分

すべて広葉樹を用いた広葉樹合

冗談欄 惨めな男性

第一生命が、全国の三十〜六十代の男女八百名に、夫婦について調査している。

▽調査結果その一

夫婦で居ると心が安らぎ、相手に感謝しているのは、男性の方が多く、「奥さんを心の拠りどころ」にしている男性が多い。

それに比べて、女性の方は夫に対する思いはそれほど強くはなく、しかも年代が高まるにつれて弱まり、「夫を信頼しない妻」の姿がある。

男性とは、なんとお人よしで哀れな人種なことよ。

▽調査結果その二

夫婦喧嘩は半数以上の夫婦が普段からしており、妻の年齢が年上の夫婦の方が、年下や同齡の夫婦より多く喧嘩をしている。

怒りだすのは妻の方が先、謝るのは夫の方からである。

一方、米国の大学研究者が、一九二組の夫婦を十七年間にわたって調査し、夫婦喧嘩をする夫婦の方が、しない夫婦より長生きしていると報告している。

男性が長生きするには、年上の女性と結婚し、怒られては謝る人生を送ることである。

板、針葉樹を用いた針葉樹合板、

両者を混合した複合合板に区分され、最近では、広葉樹から針葉樹への転換が進められており、国内生産量の約6割が針葉樹合板となっている。

▽構成による区分

心板に単板を用いたベニアコア合板と単板以外を用いた特殊コア合板に区分され、特殊コア合板には、心板の種類によりランバーコア合板、ボードコア合板、軽量合板がある。

岩手県ホームページから

松くい虫抵抗性アカマツ

苗木の供給開始

今年度から、従来の苗木と比べて一・七倍の抵抗性を持つ苗木(平均生存率:従来苗31%、今回生産苗54%)の供給が始まっている。

岩手県林業技術センターが、選抜、開発したもので、東北地方で初めての松くい虫抵抗性苗木の出荷となる。

平成20年1月分の販売実績

- 合板用出荷量は、先月よりホクヨープライウッドが約640㎡、北日本プライウッドが約1,340㎡、全体で約1,970㎡増大している。会員生産は、先月よりスギが約1,250㎡、アカマツが約750㎡増大して、全体で約2,400㎡増大している（一関市大東町のストックヤードからの出荷量：約180㎡）。また、システム販売は、先月より約400㎡少ない出荷量となっている。
- その他（合板用以外）の出荷量は、先月より減少し約200㎡となっている。
- 年間計画量に対する1月までの累積出荷量の割合（目標達成率）を、1月までの目標達成率83%と比較すると、合板用の出荷は達成率をいくらか回復しているが、会員生産で5%、システム販売で15%少なく、計画より遅れた進捗となっている。

(㎡、%)

区分	出荷者	樹種	長級	販売先				累計	割合		目標達成率	19年度計画量
				ホクヨープライウッド(株)	北日本プライウッド(株)	その他	計		長級別	樹種別		
合板用	会員生産	スギ	2.0	2,179	989		3,168	36,611	62.8	59.2	78.8	125,000
			2.1		206		206	1,872	3.2			
			4.0	1,549	1,162		2,711	19,827	34.0			
			計	3,728	2,357		6,085	58,310	100.0			
		カラマツ	2.0	999	115		1,114	15,128	83.7			
			2.1	14			14	1,644	9.1			
	アカマツ	4.0	99	17		116	1,295	7.2	18.3			
		計	1,112	132		1,244	18,068	100.0				
		2.0	2,226	1,005		3,231	20,407	92.3				
		2.1										
	計	4.0	109	64		173	1,713	7.7	22.5			
		計	2,335	1,070		3,404	22,121	100.0				
		計	7,175	3,559		10,734	98,499	100.0				
		計										
システム販売	スギ	2.0	933	243		1,176	10,637		100.0	68.8	20,000	
		4.0	55	29		84	84	77.9				
		2.0	98			98	1,602	11.6				
		2.0	548	6		555	1,434					
	4.0	1			1	7						
計	1,635	278		1,913	13,763							
その他	広葉樹	スギ				34	2,510	50.4	100.0	24.9	20,000	
		カラマツ				191	2,275	45.7				
		アカマツ										
		計				225	4,977	3.9				
合計		8,810	3,837	225	12,872	117,239		71.1	165,000			

落穂拾い

今は昔、筆者が子供の頃にはお正月によくカルタ遊びをしたが、最近の子供たちはどうなのだろうか。

想像であるが、今頃の子供たちはあまりカルタ取りなどしないのではないかと思う。

なぜならば、カルタ遊びは二人でもできるが、もつと多くの仲間がいないと興が乗らないもので、兄妹が少ない少子家庭が多くなっているとともに友達同士が寄り集まって集団で遊ぶということが少なくなっているようだからである。カルタには、大きく分けると二つある。

一つは、百人一首を書いた歌カルタ、もう一つは、諺などを書いたいろはカルタである。

いろはカルタは、またの名を犬棒カルタとも言われていた。

その理由は、最初の札、すなわち「い」の札に書かれた諺が、「犬も歩けば棒に当たる」であるからである。

この「犬も歩けば棒に当たる」という諺の意味は、本来、「犬がうるうる歩いていると野良犬だと思われ棒で叩かれる」ということで、むやみに出歩くことを戒めた

ものであった。

ところが、近年では正反対の意味に使われるようになり、その誤用が定着しているというのである。

ちなみに、広辞苑(第四版)をひも解いてみると、「犬も歩けば・・・」の意味を「物事を行く者は、時に禍にあらう。」

また、やってみると思わぬ幸いに合うことのたとえ。(前者が本来の意味と思われるが、後の解釈が広く行われる)となっている。

「棒に当たる」ことが本来は(災難)の意味であったのが、(幸運)という全く逆転した意味に解釈されることになったのである。

この諺の本来の意味を知る筆者には、誤用とも言うべき「後の解釈」が普遍的になってきているというのを奇妙に感ずるのであるが、これも時代背景が変わったためであろう。

それは、昔は家におり家を守るものが、とりわけ女性や子供にとっては大事なことであり、それゆえに出歩くことを戒めたのであるが、時代が移るにつれて、積極的に外に出て自分の可能性を拓けることをよしとする風潮に変化してきたことに大いに関係があるというのである。

時は流れている。